

資料編

策定委員名簿

選出区分	役職	氏名	備考
理事	社会福祉法人更生慈仁会理事	本村 美八留	委員長
	江南区社会福祉協議会会長	今井 宏樹	
	秋葉区社会福祉協議会会長	風間 淳一	
	新潟市民生委員児童委員協議会連合会会長	坂上 たん	
	新潟市社会福祉協議会常務理事	高橋 勝太郎	
評議員	中央区社会福祉協議会副会長	三崎 晋	
	西蒲区社会福祉協議会副会長	吉崎 賢一	
	知的障害者授産施設ほがらか福祉園園長	岩崎 久弥	
	一般公募	阿部 春江	副委員長
その他会長が必要と認める者	新潟医療福祉大学 社会福祉学部准教授	寺田 貴美代	
	新潟青陵大学福祉心理学科准教授	李 在億	
	新潟県社会福祉協議会企画広報課長	横堀 直樹	
	新潟市福祉部福祉総務課長	外山 孝幸	
職員	地域福祉・相談支援部会部会長	五十嵐 杉之	
	介護事業等在宅福祉部会部会長	小林 裕	
	経営企画部会部会長	白井 俊和	

策定委員会の開催状況

回	開催日	協議内容	備考
第1回	H26.7.14	委員長・副委員長の選任 総合計画の策定について 基礎資料、現計画の評価について 基本理念（案）及び基本目標（案）について	
第2回	H26.7.28	基本目標（案）について	
第3回	H26.11.17	素案について	
第4回	H26.11.25	素案について	

沿革

昭和 31 年 3 月 29 日	新潟市社会福祉協議会発足
昭和 40 年 11 月 5 日	財団法人認可
昭和 44 年 2 月 18 日	社会福祉法人認可
昭和 44 年 3 月 18 日	社会福祉法人登記
昭和 53 年 3 月 31 日	新潟市社会福祉センター内に事務局を置く
昭和 58 年 5 月 18 日	市町村社会福祉協議会法制化
平成 11 年 3 月 9 日	新潟市総合福祉会館に移転
平成 13 年 1 月 1 日	黒埼町社会福祉協議会と合併
平成 17 年 4 月 1 日	12 市町村の社会福祉協議会と合併 新津市、白根市、豊栄市、小須戸町、横越町、亀田町、 岩室村、西川町、味方村、潟東村、月潟村、中之口村 財団法人新潟市福祉公社と統合
平成 17 年 11 月 1 日	巻町社会福祉協議会と合併
平成 19 年 4 月 1 日	新潟市の政令指定都市・区制移行に伴い、各区に区社会福祉協議会を設置

新潟市の地域福祉に関するアンケート調査結果（抜粋）

【調査概要】

- ・目的 市民の福祉面での実態・要望を把握し、傾向やニーズを分析することで資料を得ることを目的に実施
- ・調査地域 新潟市全域
- ・調査対象 満20歳以上の男女個人
- ・標本数 4,000人
- ・抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- ・調査方法 郵送法による自記式アンケート調査
- ・調査期間 平成26年1月20日～2月7日
- ・回収結果 有効回答数（率）2,323（58.1%）

今後の市の取り組み、社会福祉協議会

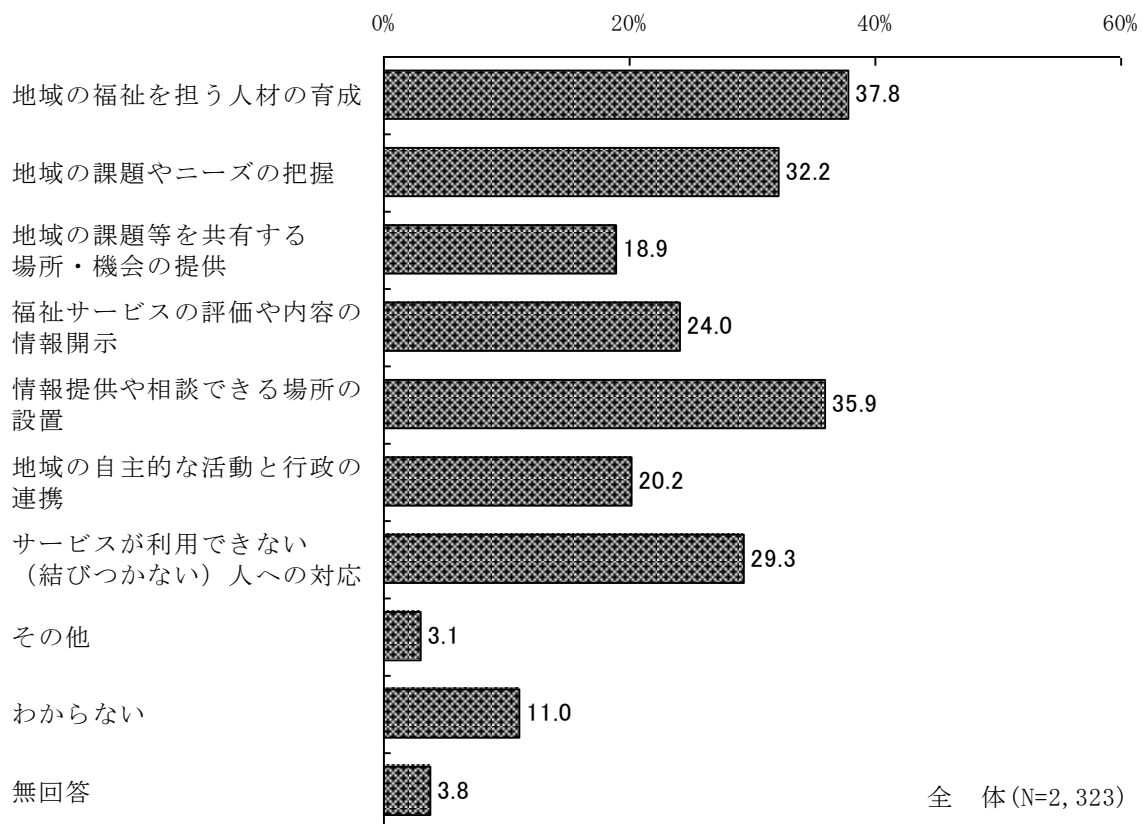
(1) 地域福祉推進のために新潟市が力を入れるべきこと

問23 あなたは、地域の福祉を推進するために新潟市はどのようなことに力を入れるべきと思いますか。（〇はいくつでも）

「地域の福祉を担う人材の育成」を筆頭に市への要望は多岐に渡る

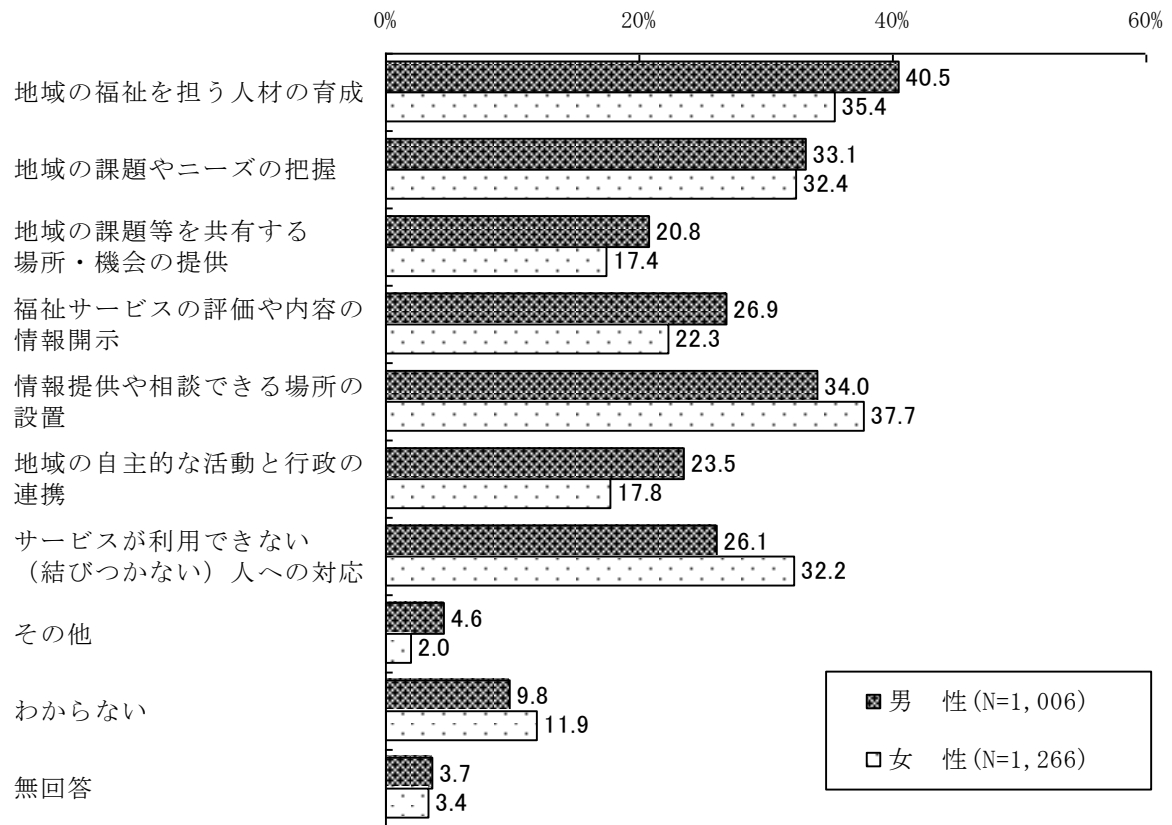
【全体結果】

「地域の福祉を担う人材の育成」の割合が最も高く、「情報提供や相談できる場所の設置」や「地域の課題やニーズの把握」も3割台で続く。



【性別】

男性は「地域の福祉を担う人材の育成」の割合が最も高く、女性は「情報提供や相談できる場所の設置」の割合が最も高い。



【年齢別】

年齢によって第1位の回答が異なる。20歳～39歳は「地域の課題やニーズの把握」が、40歳～64歳は「情報提供や相談できる場所の設置」が、65歳以上は「地域の福祉を担う人材の育成」がそれぞれ第1位である。

	20歳～ 29歳 (N=160)	30歳～ 39歳 (N=336)	40歳～ 49歳 (N=359)	50歳～ 59歳 (N=361)	60歳～ 64歳 (N=259)	65歳～ 69歳 (N=251)	70歳～ 74歳 (N=214)	75歳以上 (N=365)
地域の福祉を担う人材の育成	30.6	28.6	35.4	36.0	40.2	43.8	43.9	44.4
地域の課題やニーズの把握	40.0	39.0	40.9	38.0	32.4	29.1	25.2	15.1
地域の課題等を共有する場所・ 機会の提供	15.0	18.8	20.3	20.5	18.1	20.3	18.7	17.8
福祉サービスの評価や内容の情報開示	18.1	22.6	21.7	27.7	29.3	26.3	23.4	22.2
情報提供や相談できる場所の設置	32.5	27.7	44.0	42.4	41.3	36.7	36.9	27.1
地域の自主的な活動と行政の連携	18.1	14.6	20.1	24.1	22.4	19.9	23.8	18.9
サービスが利用できない (結びつかない)人への対応	31.3	35.1	36.8	34.1	24.3	30.7	22.0	18.1
その他	1.9	6.5	4.2	2.8	2.3	3.2	0.9	1.1
わからない	11.3	12.5	8.6	6.1	9.3	10.0	10.7	18.6
無回答	0.6	0.9	0.3	0.8	3.1	5.2	7.0	11.2

【地区別】

中央区以外の地区では「地域の福祉を担う人材の育成」の割合が最も高く、地区別による顕著な差は見られない。

	北区 (N=226)	東区 (N=400)	中央区 (N=518)	江南区 (N=192)	秋葉区 (N=211)	南区 (N=137)	西区 (N=462)	西蒲区 (N=168)
地域の福祉を担う人材の育成	39.8	40.0	35.3	37.5	39.3	38.0	36.1	39.9
地域の課題やニーズの把握	31.9	31.3	32.2	31.8	30.8	27.7	33.5	36.9
地域の課題等を共有する場所・ 機会の提供	19.0	17.3	19.1	19.8	19.4	21.2	20.6	14.3
福祉サービスの評価や内容の情報開示	21.7	27.3	21.4	21.4	23.2	25.5	26.0	26.2
情報提供や相談できる場所の設置	34.5	35.8	42.1	32.8	35.1	32.8	34.8	31.5
地域の自主的な活動と行政の連携	18.1	22.8	17.2	18.8	22.7	24.1	20.6	20.8
サービスが利用できない (結びつかない)人への対応	28.3	31.5	30.1	30.2	23.7	19.7	31.8	28.6
その他	1.3	3.8	4.2	2.6	2.4	3.6	2.6	2.4
わからない	12.4	10.0	12.2	8.9	10.9	12.4	10.4	11.9
無回答	2.7	5.3	2.7	3.1	5.2	5.1	2.4	5.4

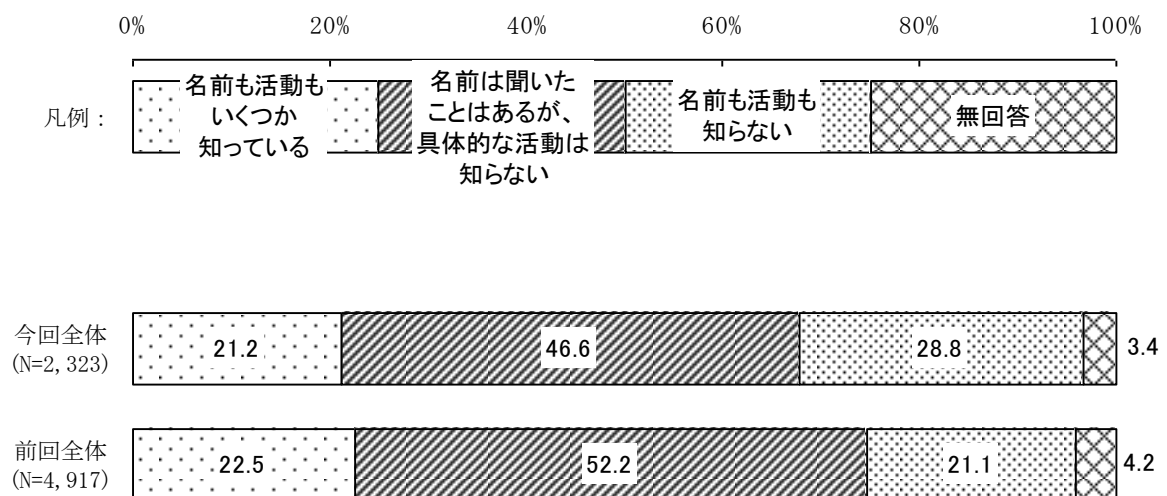
(2)新潟市社会福祉協議会の認知状況

問 2 4 あなたは、地域の福祉推進を図るためにいろいろな活動を行なっている新潟市社会福祉協議会という組織をご存知ですか（○は1つだけ）

5 割弱が「名前は聞いたことはあるが、具体的な活動は知らない」と回答

【全体結果】

「名前は聞いたことはあるが、具体的な活動は知らない」の割合が最も高く、5 割弱を占めている。

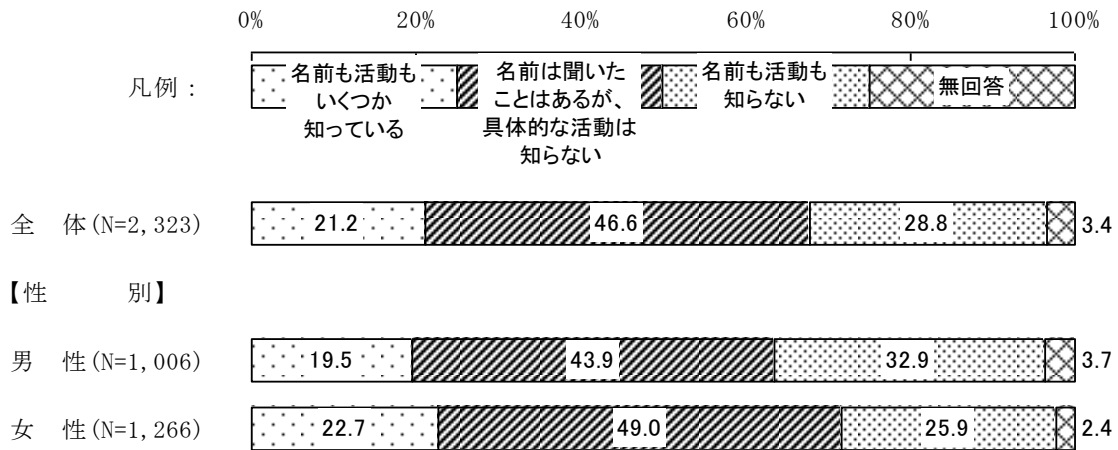


【前回調査との比較結果】

前回調査に比べ、「名前も活動もいくつか知っている」と「名前も活動も知らない」の順位が逆転し、今回は「名前も活動も知らない」の割合が上回った。

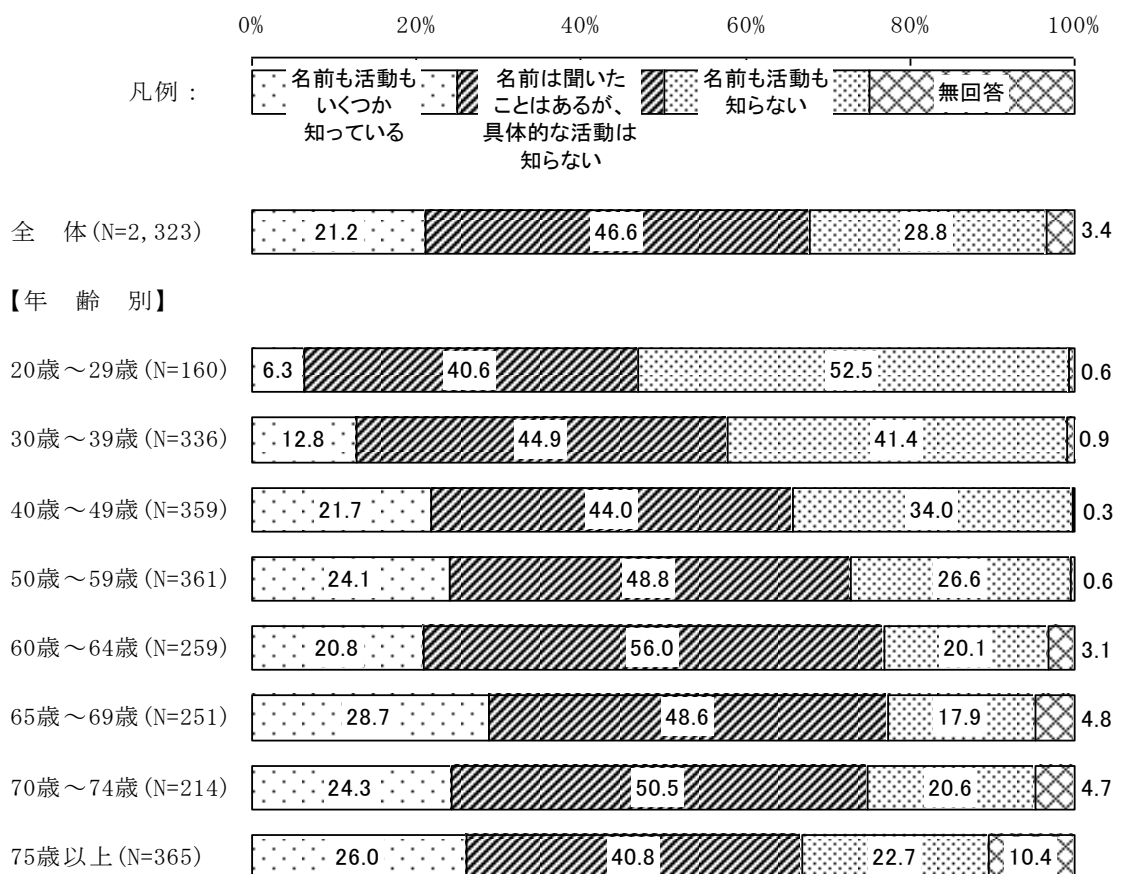
【性別】

男性・女性とも「名前は聞いたことはあるが、具体的な活動は知らない」の割合が最も高い。「名前も活動も知らない」は、女性よりも男性の方が高い割合となっている。



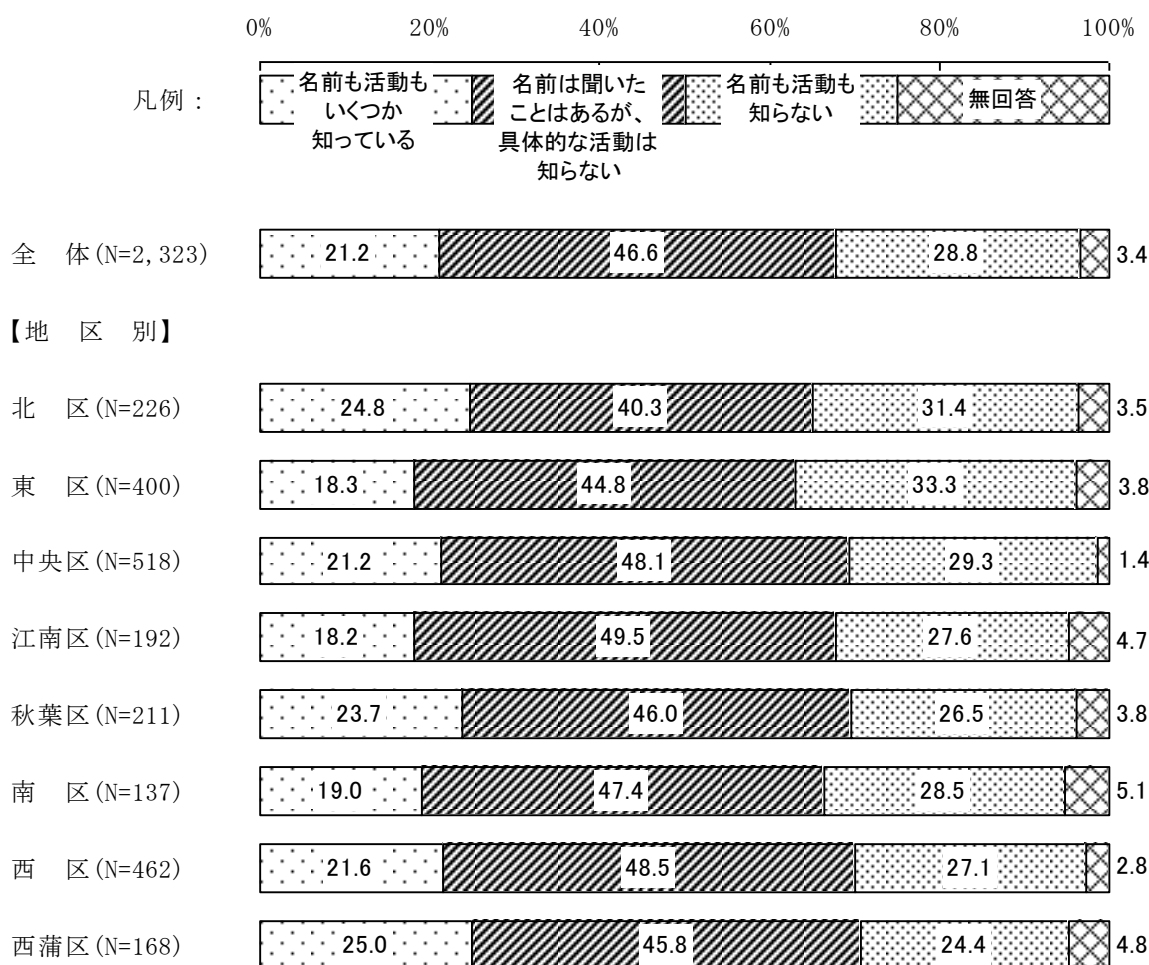
【年齢別】

「名前も活動もいくつか知っている」は、年齢が上がるにつれ割合が増加する傾向にある。対して、「名前も活動も知らない」はこれとは真逆の傾向をしめした。



【地区別】

地区を問わず「名前は聞いたことはあるが、具体的な活動は知らない」の割合が最も高い。



【地 区 別】

(3)新潟市社会福祉協議会に期待すること

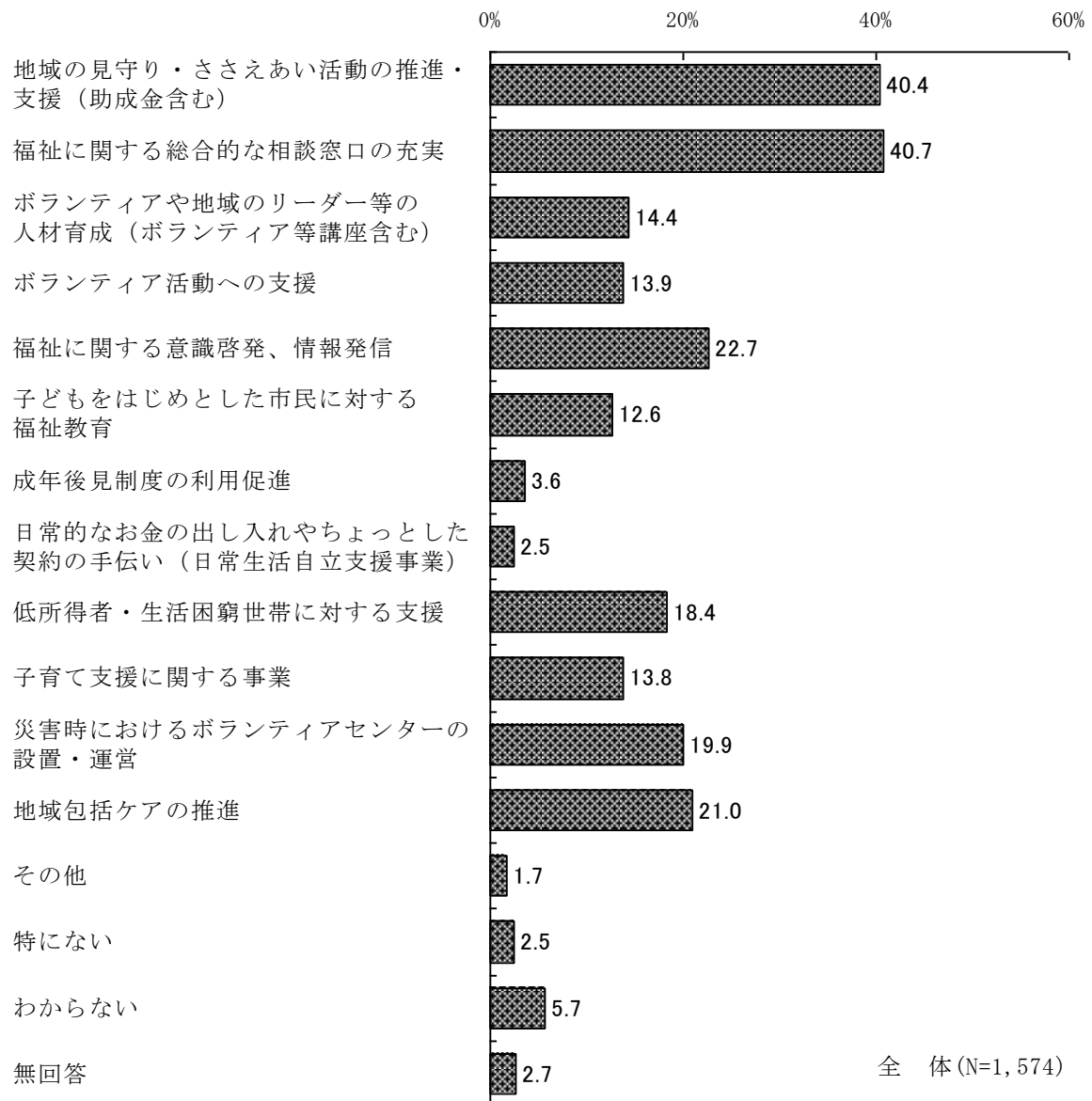
問24で「1 または 2」と答えた方に伺います。

問24-1 新潟市社会福祉協議会に期待することは、次のどれですか。(〇は3つまで)

「総合的な相談窓口の充実」や「見守り・ささえあい活動の推進・支援」への期待が特に大きい

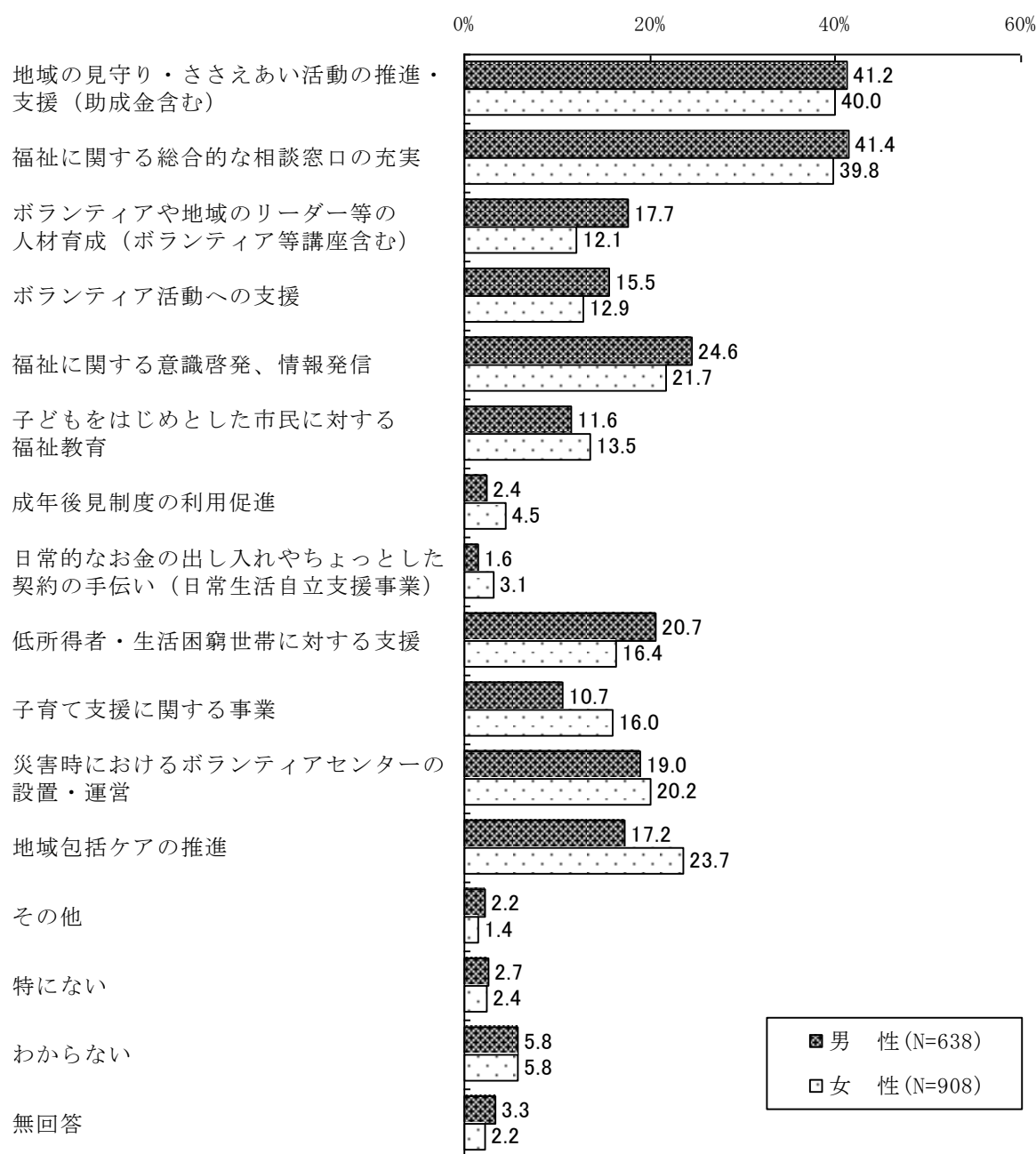
【全体結果】

「福祉に関する総合的な相談窓口の充実」や「地域の見守り・ささえあい活動の推進・支援（助成金含む）」への期待が各4割ととりわけ高い。



【性別】

男性・女性ともに「福祉に関する総合的な相談窓口の充実」と「地域の見守り・ささえあい活動の推進・支援（助成金含む）」の割合が特に高い。



【年齢別】

20歳～39歳は他の年齢層よりも特に「子育て支援に関する事業」の割合が高くなっている。

	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	75歳以上
	(N=75)	(N=194)	(N=236)	(N=263)	(N=199)	(N=194)	(N=160)	(N=244)
地域の見守り・ささえあい活動の 推進・支援(助成金含む)	42.7	33.0	39.0	39.2	36.2	40.7	50.0	45.9
福祉に関する総合的な相談窓口の 充実	40.0	29.9	34.7	44.1	43.2	40.2	45.0	47.1
ボランティアや地域のリーダー等の 人材育成(ボランティア等講座含む)	9.3	10.8	13.6	16.7	17.1	18.6	12.5	12.7
ボランティア活動への支援	10.7	13.9	12.7	16.7	18.1	19.1	13.1	6.1
福祉に関する意識啓発、情報発信	25.3	20.6	18.2	26.6	21.6	26.8	21.9	22.1
子どもをはじめとした市民に対する 福祉教育	14.7	27.8	16.1	11.0	12.1	8.8	8.1	4.9
成年後見制度の利用促進	5.3	6.2	4.2	4.9	2.5	1.5	3.1	1.6
日常なお金の出し入れやちょっとした 契約の手伝い(日常生活自立支援事業)	5.3	2.6	2.5	3.4	2.5	1.5	2.5	1.2
低所得者・生活困窮世帯に対する支援	20.0	18.6	19.5	17.1	15.1	17.5	18.8	20.1
子育て支援に関する事業	36.0	33.5	21.6	9.1	9.5	5.7	5.6	4.1
災害時におけるボランティアセンター の設置・運営	14.7	18.6	20.3	17.9	22.1	23.2	25.0	16.4
地域包括ケアの推進	20.0	11.9	22.9	23.2	24.6	21.6	21.9	20.9
その他	0.0	2.1	3.8	1.5	2.0	1.5	0.6	0.8
特になし	1.3	1.5	1.3	2.3	4.0	3.6	1.9	3.3
わからない	1.3	7.2	5.9	6.5	6.0	4.1	3.1	7.8
無回答	1.3	1.0	3.0	1.1	1.0	3.1	5.0	5.3

【地区別】

いずれの地区とも「福祉に関する総合的な相談窓口の充実」または「地域の見守り・ささえあい活動の推進・支援（助成金含む）」の割合が最も高い。

	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
	(N=147)	(N=252)	(N=359)	(N=130)	(N=147)	(N=91)	(N=324)	(N=119)
地域の見守り・ささえあい活動の推進・支援(助成金含む)	44.2	37.3	43.7	37.7	41.5	38.5	40.4	34.5
福祉に関する総合的な相談窓口の充実	32.7	37.7	45.1	47.7	37.4	34.1	44.8	34.5
ボランティアや地域のリーダー等の人材育成(ボランティア等講座含む)	19.7	12.7	13.6	10.8	12.2	14.3	16.7	14.3
ボランティア活動への支援	17.0	10.3	13.6	19.2	14.3	11.0	13.3	16.0
福祉に関する意識啓発、情報発信	24.5	24.6	24.5	18.5	25.2	17.6	22.5	16.8
子どもをはじめとした市民に対する福祉教育	14.3	12.3	9.5	13.8	11.6	12.1	13.9	17.6
成年後見制度の利用促進	5.4	2.8	3.3	2.3	3.4	4.4	3.7	4.2
日常のお金の出し入れやちょっとした契約の手伝い(日常生活自立支援事業)	2.0	3.6	3.1	0.8	1.4	2.2	2.2	3.4
低所得者・生活困窮世帯に対する支援	22.4	19.8	15.3	16.2	21.1	13.2	20.1	17.6
子育て支援に関する事業	10.2	14.7	12.3	17.7	10.2	13.2	14.8	18.5
災害時におけるボランティアセンターの設置・運営	20.4	16.7	20.1	16.9	19.7	15.4	25.6	16.8
地域包括ケアの推進	15.6	21.8	23.7	14.6	15.6	20.9	23.8	24.4
その他	2.0	1.6	2.2	0.8	1.4	0.0	1.9	2.5
特になし	2.0	2.8	2.5	3.1	2.7	6.6	1.2	1.7
わからない	4.1	9.1	5.3	7.7	4.8	6.6	3.1	7.6
無回答	2.7	4.4	1.7	2.3	4.8	4.4	0.9	3.4

新潟市社会福祉協議会総合計画

発行 平成27年3月

編集 社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
〒950-0909

新潟市中央区八千代1丁目3番1号
新潟総合福祉会館

TEL 025-243-4366

FAX 025-243-4376



新潟市社会福祉協議会キャラクター

きらりん